

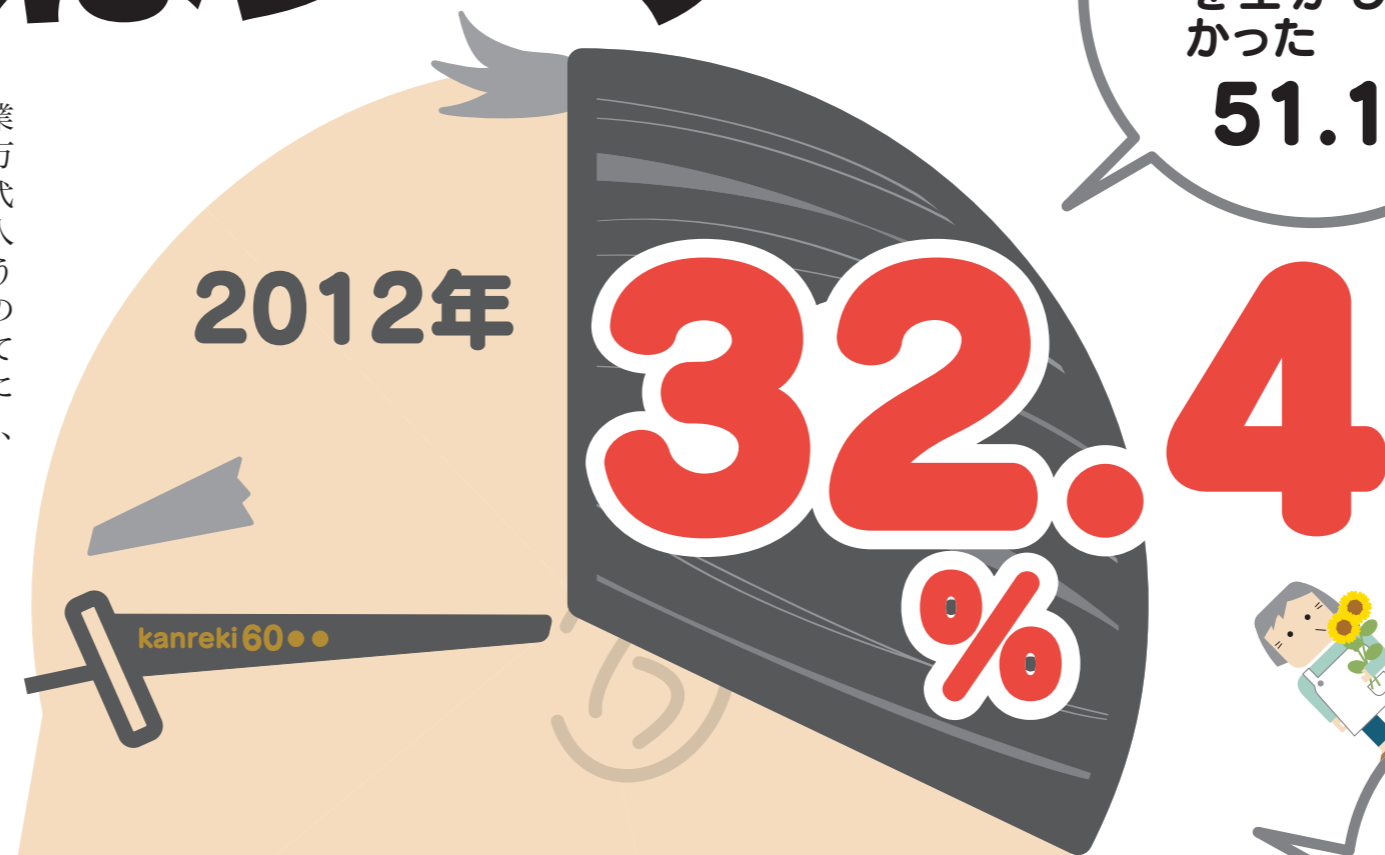
起業家、3人に1人はシニア

高齢者による「シニア起業」が増え続けている。中小企業白書によると、2012年の調査で過去1年間に起業した22万3000人のうち、60歳以上の高齢者は32.4%を占め、全世代で最多だった。比率は1982年の8.1%の4倍に、実数も2万人から7.2万人へと3.6倍に拡大し、その後も増えているもようだ。起業家が82年から1割減るなかで健闘が目立つ。多額の収益は得られなくても、定年前の仕事の経験などを生かして「社会とつながっていたい」と考える人が増えている。政府による年金の受給開始年齢の引き上げなども見込まれるなか、シニアの起業熱は今後も高まりそうだ。

60歳以上の
比率4倍に

1982年 **8.1%**

60歳以上の起業家 **2.0万人**
(起業家全体 25.1万人)



7.2万人
(22.3万人)

開業動機 (3つまでの複数回答)

1位
仕事の経験・知識や資格を生かしたかった
51.1%

55歳以上

2位
社会の役に立つ仕事をしたかった
36.2%

2位
年齢や性別に関係なく仕事をしたかった
36.2%

電子版で「もっと発見！」
ベンチャーブーム再び？
日本の「起業力」を解剖
日経ビジュアルデータ で検索



35歳～54歳

1位 自由に仕事をしたかった

2位 仕事の経験・知識や資格を生かしたかった

3位 収入を増やしたかった

34歳以下

1位 自由に仕事をしたかった

2位 収入を増やしたかった

3位 事業経営という仕事に興味があった